



広島・長崎に原子爆弾が投下されて、今年で75年目を迎えます。これまで世界で唯一の被爆国として、核兵器の悲惨さ、苦しみを世界に伝え、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を訴え続けてきましたが、いまだ核拡散の動きが止まっていないのが現状です。地球上にはまだ多くの核兵器が存在し、新たな開発も進められています。私たちは二度と悲惨な歴史を繰り返さないよう核兵器の廃絶を訴えていかなければなりません。

このような中、核兵器の全面廃止と根絶を目的に5年に一度開催されてきた核不拡散条約再検討会議は、2020年4月27日から5月22日の日程でニューヨークでの開催が予定されていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け開催を1年延期することが決定されました。この会議は核軍縮について国際社会が唯一議論できる場であり、日本政府には唯一の被爆国として核兵器の廃絶に向けた強いイニシアチブを発揮するよう強く求めていかなければなりません。

小田原足柄地域連合では、毎年8月6日～9日の広島・長崎に原爆が投下された日を軸として核兵器廃絶に向けたピースウィーク街頭啓発行動に取り組んできました。残念ながら本年は新型コロナウイルス感染が拡散し、収束の目途が立たない状況にあります。このような状況を踏まえ連合神奈川ホームページ内での啓発活動を行うこととなりました。私たちの願いを一人でも多くの市民の皆さんに伝え、核兵器も戦争も無い平和な社会の実現に向けて頑張りましょう。

小田原足柄地域連合
議長 安池 厚二